

チャレンジ！前へ！Season1



友愛オリンピック2025

～燃える赤 輝く白 心を燃やせ田代友愛～



言葉では分かっていた自主性。ではこれまで学校はどんな取組をしてきたのか。そんな疑問から始まった令和7年度の田代友愛小学校。「学校は先生が指導するもの」という根底から考え直しました。スポーツ大会も同じです。「こうあるべき」という考えを改善したところ『子供たちを信じて、～たくなるスポーツ大会を目指したい』体育主任から提案がありました。もちろん支援は十分にしていきます。そこには過度な指導や、強制はありません。子供たちが「～たくなる」ように仕向けていく先生方の様々な工夫がありました。行事は子供たちのものなんです。学校の都合や価値を押しつける場面ではないのですから。そうです！ここでも自主性を育むことができるのです。

開会式でのラジオ体操

「声を出せ！」「ちゃんとしろ！」などという指導でなくとも、子供たちはしっかりやるものです。ラジオ体操という枠の中で自分がどのように取り組むかを考えた結果です。



個人種目は全て障害走。めざせ光る瞬間！

走ることで光る子供たちも多いですが、走ることが苦手な子供たちもいます。走ることを諦める前に、どんな子供たちにもチャンスはあっていいはず。「それでも1番をねらってやるぜ」「よし、がんばってみようかな」そんな思いを子供たちがもってくれたら誰でも光る可能性がある個人種目になるんですよ。



友愛最速リレー(4・5・6年)

5・6年生の子供たちが自分たちで考えたリレー。一人一人の走る距離が違うのです。「おれにまかせろ！」「たのんだよ！」そんな声が聞こえてきそうなりレー。

